

研究課題：2 歳以上でてんかん性スパズムを発症した患者の臨床的特徴

研究の目的

乳児てんかん性スパズム症候群(West症候群)の患者様における長期予後に関して調査します。

我々は1歳以上でてんかん性スパズムを発症した患者様について、発症時年齢が1-2歳の患者と、発症時年齢が2歳以上の患者に分け、2群における臨床的特徴の差異を調査します。

1. 研究の方法

1990/1/1-2025/3/31 までに当センター神経科で診療された 1 歳以上でてんかん性スパズムを発症した患者様が対象となります。患者様の臨床的特徴を調査し、情報をまとめます。

2. 研究期間

倫理委員会承認後～2030/3/31 までの期間。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を元に、性別、年齢、既往歴、家族歴、発症時年齢、身体所見、検査所見、治療経過、最終予後について情報を調べまとめます。

4. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌に公表されることがありますが、患者様の個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

5. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：神経科 科長 菊池 健二郎

実施分担者：保健発達部 医長 小一原 玲子

神経科 医長 松浦 隆樹

神経科 医長 平田 佑子

神経科 医長 代田 惇朗

神経科 医員 堀田 悠人

神経科 医員 大庭 梓

神経科 研修生 竹内 博一

6. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）